
あなた、大丈夫ですか？

KMY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなた、大丈夫ですか？

【Nコード】

N8340E

【作者名】

KMY

【あらすじ】

家の前に、横になっている人がいました。僕は話しかけてみました。

「どうしましたか」
と、僕は言った。

「なぜそんなところで横になっているのですか？もうすぐ夜ですし・
・」

と、僕は言った。

「それじゃ、一度僕の家泊まりませんか？」
と、僕は言った。

「晩ご飯食べますか？」

と、僕は言った。

「あの、何か言ってください」
と、僕は言った。

「あのー・・・それじゃ、お風呂入りますか？」
と、僕は言った。

「ああ、僕と一緒にではないですよ、一人でどうぞ」
と、僕は言った。

「すみません、何か言ってください」
と、僕は言った。

「発声障害ですか？しゃべれないんですか？」
と、僕は言った。

「僕も（リアルで）発声障害ですし、障害者同士・・・」
と、僕は言った。

「ああ、僕は耳も聞こえないんですけど（リアルで）、耳はいいか
がです？」

と、僕は言った。

「あのー、何か言ってください」
と、僕は言った。

「すみません、いろいろ勘違いしてます？」

と、僕は言った。

「言えないのなら紙に書いて下さい」
と、僕は言った。

「はい、これが書き物で」

と、僕は言った。

「あのー、何か書いて下さい」

と、僕は言った。

「もしかして全身中麻痺してます？」

と、僕は言った。

「この近所でそんな物騒なものがありましたっけ？」

と、僕は言った。

「ちよっと、ちよっと、起きてます？」

と、僕は言った。

「大丈夫ですか？」

と、僕は言った。

「あなた、大丈夫ですか？」

と、僕は言った。

「何か悩みがあるなら言っていただけませんか？」

と、僕は言った。

「すみません、何か喋ってください！」

と、僕は言った。

「・・・・・・おんぶしますよ」

と、僕は言った。

「殺人の現行犯で逮捕します」

と、僕に言った。

(後書き)

ラヴコメを書くのは難しいですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8340e/>

あなた、大丈夫ですか？

2010年10月17日02時51分発行